

平成 24 年 3 月 30 日

地域貢献活動支援報告書

社会連携研究センター長 殿

所 属 教育学部
氏 名 杉田 正明

活動テーマ	ジュニアアスリートフェスティバル～小学生の「走る」「跳ぶ」「投げる」 機会の創出～
実施期間	平成 23 年 11 月 19 日（準備）～ 平成 23 年 11 月 20 日
活動内容	本事業は、地域への貢献事業として、本学陸上競技部が中心となって、小学生を対象としたレクリエーションや「走る」「跳ぶ」「投げる」の三種競技のフェスティバルを本学の陸上競技場で開催するものであり、本年度で 16 回目となった。 第 16 回ジュニア・アスリート・フェスティバルを三重大学陸上競技場で以下のような内容で、三重大学陸上競技部と津陸上競技協会が共催のかたちで実施した。学生達は小学生を対象とするので様々な準備や運営等があり、大学での学びを実践化する良い機会ともなっている。 競技種目 午前の部：レクリエーション 走る・跳ぶ・投げるに関連したレクリエーション 午後の部：三種混成競技記録会（3,4,5,6 年生対象） 3,4 年生 50m、ボール投げ、走幅跳 5,6 年生 100m、ボール投げ、走幅跳 * 雨天時：30m、握力、立ち幅跳びなど（3,4,5,6 年生対象） オープン種目：男子 50m、女子 50m（1,2 年生対象） 男子 1000m、女子 1000m（5,6 年生対象） 過去の参加選手の中には、陸上競技の全国中学チャンピオンをはじめ陸上以外でもサッカーや野球で活躍する選手を数多く輩出しており、こうした機会の提供は、子どもの体力低下が叫ばれている中で、子供たちの総合的な運動能力向上の一助となり、スポーツ全般への愛好的な態度を育み、生涯スポーツへの第一歩となるきっかけ作りに大きく寄与しているといえる。継続して開催していくことが重要である。 中勢地区はもとより、北勢、伊勢志摩から、本年は 176 名の参加者と併せて保護者の方々の来学があり、11 月の県内小学生の恒例行事となっていることがうかがえる。三重大学を拠点にスポーツを通じた地域貢献を担っている。このフェスティバル参加した小学生が数年後に本学に入学している例も多々あり、外部の人たちに三重大学のすばらしさを認知してもらえる良い機会ともなっている。